

登校の判断について（一部改訂 8/31）

次のフローチャートに従って登校の判断をしてください。『迷ったら休む』が基本です。
学校への連絡は従来通り、生徒ではなく必ず「保護者の方」からしてもらいましょう。
登校後に不調を感じたらすぐに早退します。保健室での休養は原則できません。

健康チェックの入力

毎日登校前に Googleclassroom で回答

発熱等の風邪症状、息苦しさ、
強いだるさなどの症状がある。

※ 発熱は個人差があるため、37.5℃以下であっても熱っぽいと感じたら無理せず休みましょう。

ない

登校する

ある

1～4のどれか1つでも
あてはまるか

1. 高熱、全身の強いだるさ、強い息苦しさなど、強い症状のいずれかがある。
2. 重症化しやすい方*で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある。
※心不全、呼吸器疾患（ぜんそくを含む）等の基礎疾患がある方
3. 発熱や咳などの比較的軽い風邪症状が、4日以上続いている。
4. 解熱剤を飲み続けないとつらい

あてはまる

自宅療養（出席停止：欠席扱いにはしません）
保護者から学校へ連絡をする
帰国者・接触者相談センター*へ連絡
※お住いの市町村で設置されている場合があります。

あてはまらない

軽い風邪症状

自宅療養（出席停止：欠席扱いにはしません）
保護者から学校へ連絡する

同居する家族等が
感染した
感染の疑いがある
（風邪の症状がある）
場合は、学校に連絡をして
自宅で待機してください。